

TIFF-izm for Windows

- User's Guide -

LNSOFT

～ 目次 ～

I – TIFF-izm for Windows について.....	3
はじめに.....	3
特徴.....	3
対応圧縮形式.....	3
II – TIFF-izm for Windows の機能.....	4
メイン画面各部の名称.....	4
コマンドメニュー一覧.....	5
ツールバー上段への割り当て.....	7
ツールバー下段への割り当て.....	7
III – TIFF-izm for Windows の使い方.....	8
まずはじめに.....	8
TIFF ドキュメントを参照する.....	9
TIFF ドキュメントを編集する.....	10
TIFF ドキュメントを印刷する.....	11
スキャナから TIFF ドキュメントを作成する.....	12

I – TIFF-izm for Windows について

はじめに

TIFF ドキュメントのイメージビューアとしてすこぶる精度が高く、事実上のデファクトスタンダードとなっていた Kodak 社の『Imaging for Windows』であったが、OS が「WindowsXP」に移行するやいなや標準ビューアが『Windows 画像と FAX ビューア』に切り替わってしまった。しかしながら、レスポンスや機能面で若干の問題が抱えられており、特に高解像度の文書や図面を扱う業務レベルにおいては、不満を持たれていた方も多いはずだ。筆者もその一人である。

本ソフトは、当初からポスト『Imaging for Windows』に狙いを定めて開発された。マルチページ・各種圧縮形式への対応、2 値グレースケール描画、エディットツール、印刷、スキャニングといった従来の基本性能、かつ操作系統の共通化が踏まえられ、新たにパンナビゲーション、目盛・グリッド表示等の便利な補助機能群を装備。描画スピードの速さも見逃せないポイントである。実に長らくの間、切望されていた新たなスタンダードと言ってよいだろう。

特徴

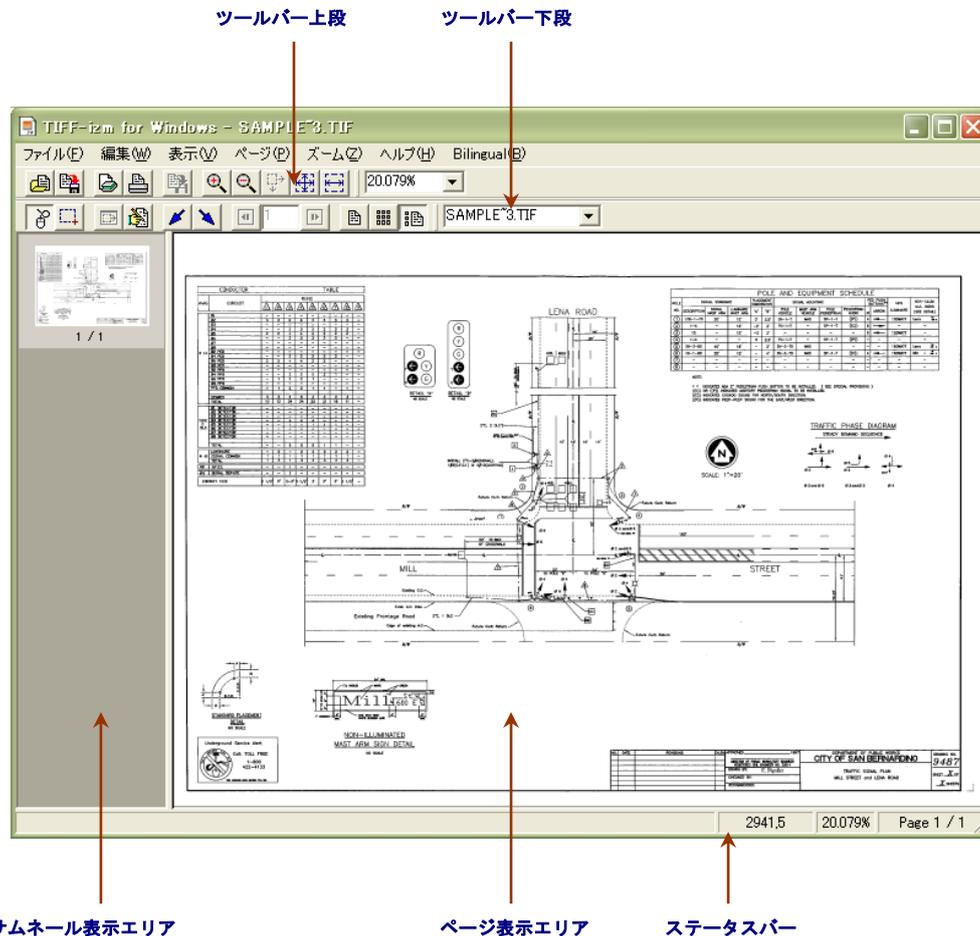
- TIFF ドキュメント専用(G3,G4,PackBits,LZW 対応)の高精細ビューア
- マルチページ TIFF 完全対応(ページの追加,挿入,削除可)
- イメージ編集機能(文字,線,消しゴム,スタンプほか)
- スキャニング機能
- プリントアウト機能(ページ範囲,画像の部分指定可)
- バイリンガル(日本語/英語)対応
- 機能制限なしのシェアウェア

対応圧縮形式

- 非圧縮
- MH(Group3)
- MR(Group3)
- MMR(Group4)
- PackBits
- LZW

II – TIFF-izm for Windows の機能

【メイン画面各部の名称】



ーツールバー上段

「開く」「保存」「スキャニング」「印刷」ほか拡大縮小コマンド群。

ーツールバー下段

「マウス操作」「各種ツール設定」「画像の回転」ほか補助機能のコマンド群。

ーステータスバー

「簡易ヘルプ」「マウス座標」「拡大倍率」「ページ番号」の表示。

ーサムネール表示エリア

マルチ TIFF 各ページのサムネール表示。

ーページ表示エリア

ページ画像の表示。

【コマンドメニュー一覧】**ーファイル**

- ー開く …TIFF ファイルを開きます。
- ーページの上書き保存 …表示中のページを上書き保存します。
- ーページの抽出保存 …表示中のページを抽出保存します。
- ースキヤニング …新規スキヤニング(ページの追加)します。
- ースキヤナの選択 …使用するスキヤナ(TWAIN 機器)を選択します。
- ーファイルのプロパティ …ファイルのプロパティを表示します。
- ー印刷 …全ページを印刷します。
- ー印刷先の選択 …印刷先(ローカル/ネットワーク)を選択します。
- ーメールの送信 …表示中のファイルをメール送信します。
- ーTIF/TIFF ファイルの関連付け…TIFF ファイルを関連付けします。
- ー終了 …終了します。

ー編集

- ー編集ウィンドウ …編集ウィンドウを表示します。
- ー編集ウィンドウの設定 …編集ウィンドウを設定します。
- ーコピー …選択範囲をクリップボードコピーします。
- ーページ全体のコピー …全体をクリップボードコピーします。
- ードラッグ …ドラッグモードに切り替えます。
- ー範囲の選択 …範囲選択モードに切り替えます。

ー表示

- ーパンウィンドウ …パンウィンドウを表示します。
- ーページを表示 …ページのみを表示します。
- ーサムネールを表示 …サムネールのみを表示します。
- ーページとサムネールを表示 …ページとサムネールを表示します。
- ー全画面表示 …ページを全画面表示します。
- ーグレースケール …2 値画像をグレースケール描画します。
- ー目盛 …ピクセル、ミリメートル、インチから選択します。
- ーグリッド線 …ピクセル、ミリメートル、インチから選択します。
- ー座標チップ …ピクセル、ミリメートル、インチから選択します。
- ーツールバー …ツールバー、ステータスバーを表示します。

ーページ

- ー最初のページ …最初のページを表示します。

—前のページ	…前のページを表示します。
—次のページ	…次のページを表示します。
—最後のページ	…最後のページを表示します。
—ページ指定	…表示するページを指定します。
—ページの印刷	…表示中のページを印刷します。
—ページの回転	…表示中のページを回転します。
—ページの挿入	…新しいページを挿入します。(自動保存)
—ページの追加	…新しいページを追加します。(自動保存)
—ページの削除	…表示中のページを削除します。(自動保存)
—ページのプロパティ	…ページのプロパティを表示します。
—ページの開き方	…ページの開き方を選択します。

—ズーム

—拡大	…表示中のページを2倍に拡大します。
—縮小	…表示中のページを1/2に縮小します。
—選択範囲に拡大	…表示中のページを選択範囲に拡大します。
—全体表示	…ページをウィンドウに合わせて表示します。
—高さに合わせる	…ページを高さに合わせて表示します。
—幅に合わせる	…ページを幅に合わせて表示します。
—原寸大	…ページを原寸大で表示します。
—25%	…表示中のページを25%で表示します。
—50%	…表示中のページを50%で表示します。
—75%	…表示中のページを75%で表示します。
—100%	…表示中のページを100%で表示します。
—200%	…表示中のページを200%で表示します。
—400%	…表示中のページを400%で表示します。
—倍率指定	…表示する倍率を指定します。

—ヘルプ

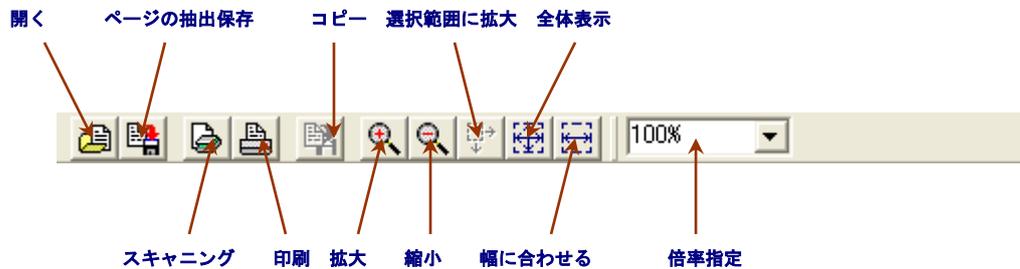
—ユーザーズガイド	…ユーザーズガイドを表示します。
—ソフトウェア情報	…ソフトウェア情報を表示します。

—Bilingual

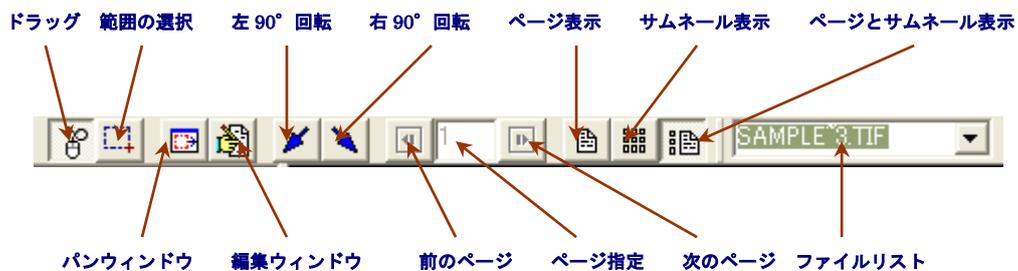
—Japanese	…日本語表記にします。
—English	…英語表記にします。

コマンドメニューの内、使用頻度の高い機能が**ツールバー**の各アイコンに割り当てられています。

【ツールバー上段への割り当て】



【ツールバー下段への割り当て】



ーファイルリスト

ファイルリストには、表示中のファイルと同一フォルダに存在する TIFF ファイルが常にリストアップされます。マウスで任意のファイルを選択すると、表示するファイルを切り替えることができます。

(※カーソルキーの「←」「→」でも前後のファイルに移動できます。)

Ⅲ－TIFF-izm for Windows の使い方

【まずはじめに】

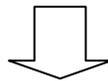
エクスプローラー等から TIFF ファイルをダブルクリックで開くための準備として、あらかじめ「TIFF-izm for Windows」にプログラムの関連付けを行っておきます。

ソフトを立ち上げ、**コマンドメニュー**の「ファイル」⇒「TIF/TIFF ファイルの関連付け」より、TIFF ファイルの関連付けを行います。

(※一度、関連付けを行っておけば、次回からこの操作は必要ありません。)



ココをクリック！

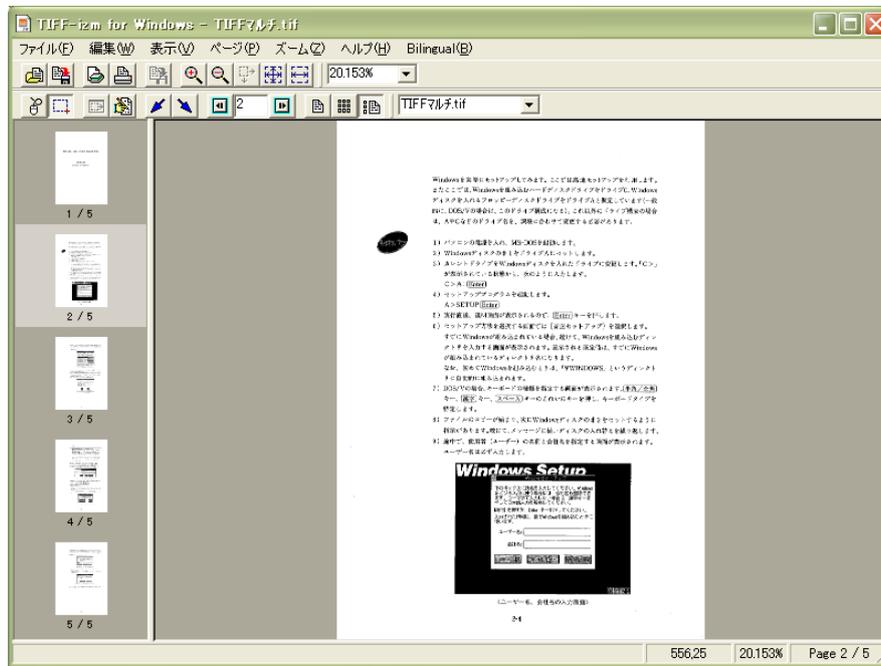


TIFF ファイルのアイコンが次のように切り替わります。



【TIFF ドキュメントを参照する】

TIFF ファイルを開くと、マルチ TIFF 各ページの「サムネール」が画面左側に、「ページ」が画面右側に表示されます。左側のサムネール（任意ページ）をクリックすると、右側の表示ページが切り替わります。



一 ドラッグモードと範囲選択モードの使い分け

ページ表示エリア上のマウス操作には『ドラッグモードと範囲選択モード： 』の2種があり、常にどちらかのモードが働いています。

一ドラッグモード：マウスのドラッグ操作で画像の表示位置を自由に動かせるモード。

一範囲選択モード：マウスのドラッグ操作で矩形範囲を指定して、『クリップボードコピー： 』、『選択範囲に拡大： 』、『部分範囲印刷： 』ができるモード。

一 拡大縮小、回転を使う

『拡大縮小： 』や『回転： 』を使いながら、見やすいサイズ・角度でページを参照してください。（※マウスホイールでも拡大縮小させることができます。）

一 パンウィンドウを使う

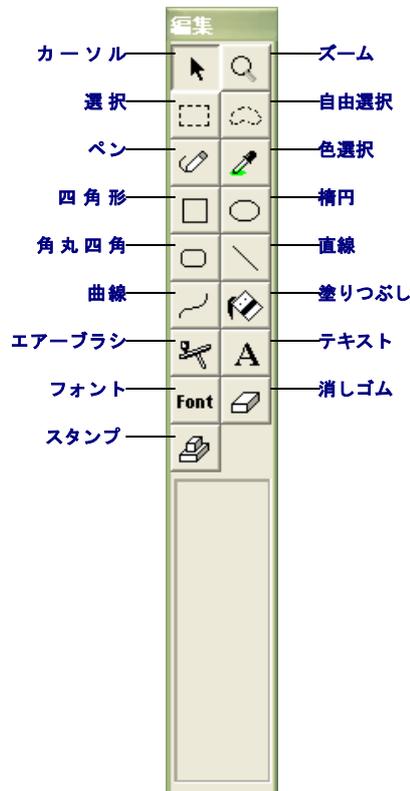
ページを拡大したときに便利なのがパンウィンドウです。『パンウィンドウ： 』を呼び出すと、ページ全体を参照しながらマウスのドラッグ操作で表示枠を移動させ、画像の表示位置をナビゲーションすることができます。（※表示枠はページの拡大倍率によってサイズが変化します。）

⇒ウィンドウを閉じるときは、再度『パンウィンドウアイコン』をクリックします。



【TIFF ドキュメントを編集する】

『**編集ウィンドウ**： 』を呼び出すと、ページ画像に「文字」や「線」を挿入したり、不要な部分を「消しゴム」で消したりと、一通りの画像加工を行うことができます。加工したページは『**ページの上書き保存**： 』で更新されます。



一文字を挿入する

1. 『**フォント**』アイコンから使用する文字のサイズ・字体を設定。
2. 『**テキスト**』アイコンを選択。
3. 文字を挿入したい部分をマウスのドラッグ操作で範囲選択。
4. 任意の文字を入力。
5. マウスのドラッグ操作で任意の位置に配置。

一線を挿入する

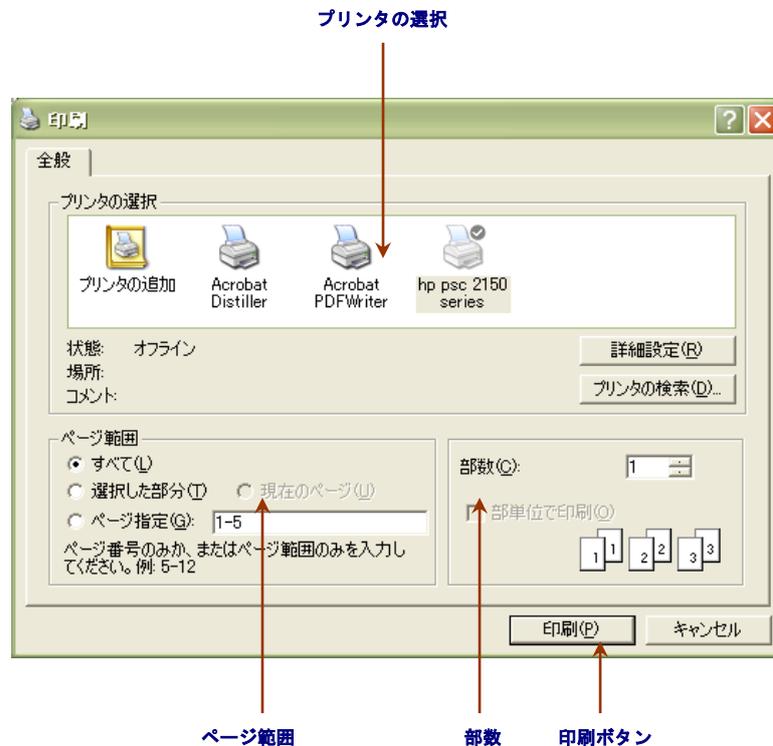
1. 『**直線**』アイコンを選択し、線の太さを設定。
2. 線を挿入したい部分をマウスのドラッグ操作で直接挿入。

一スタンプを打つ

1. **コマンドメニュー**の「編集」⇒「編集ウィンドウの設定」⇒「スタンプ」タブより、スタンプ画像を読み込み。
2. 『**スタンプ**』アイコンを選択。
3. スタンプを打ちたい部分をマウスのクリックで直接描画。

【TIFF ドキュメントを印刷する】

『印刷： 』アイコンをクリックすると次のダイアログが開きます。



—プリンタの選択

使用するプリンタを選択します。

—ページ範囲

- すべて : マルチ TIFF のすべてのページを印刷します。
- 選択した部分 : **範囲選択モード**で選択した範囲を部分印刷します。
- ページ指定 : マルチ TIFF の印刷ページ範囲を指定します。

—部数

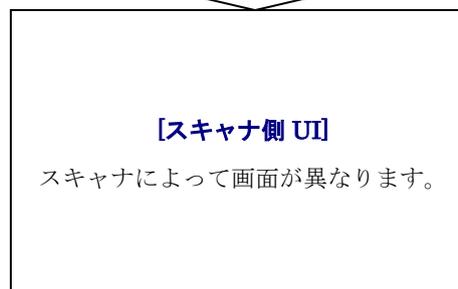
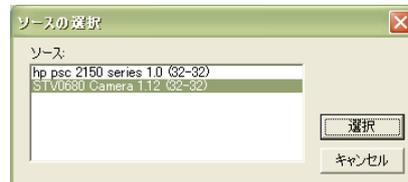
部数を指定します。

—印刷ボタン

印刷を開始します。

【スキャナから TIFF ドキュメントを作成する】

『スキャンング: 』アイコンをクリックすると、「使用するスキャナの選択」⇒「保存する画像の圧縮形式」⇒「スキャナ側 UI」の順にダイアログが開きます。それぞれ任意に選択してください。



※スキャナ側 UI では、必ず設定した**圧縮形式**に

対応する**色数**でスキャンを行ってください。

- None : 2色,16色,256色,フルカラー
- MH(Group3) : 2色
- MR(Group3) : 2色
- MMR(Group4) : 2色
- PackBits : 2色,16色,256色,フルカラー
- LZW : 2色,16色,256色,フルカラー

⇒スキャナ側 UI で、スキャンする「解像度」「色数」「読み取り範囲」等（スキャナによって設定項目が異なります）を設定し、スキャンングを実行します。スキャンに成功すると、取り込まれた画像が表示中のページの最後に追加されていきます。

(※スキャナ側 UI の画面構成はお使いのスキャナに依存します。操作方法については、スキャナに添付のマニュアルをご参考ください。)